

帯刀古墳群(児玉郡上里町)

たてわき
稲荷塚古墳

まずは真ん中を横切る上越新幹線を隔てて、北側にある古墳から見てみよう / 正面、上越新幹線の橋桁の向こうに稲荷塚古墳(帯刀1号墳)が見える



説明板を読む補助員



6世紀中葉から7世紀の築造/埼玉県選定の重要遺跡となっている

たてわきこふんぐん 帯刀古墳群

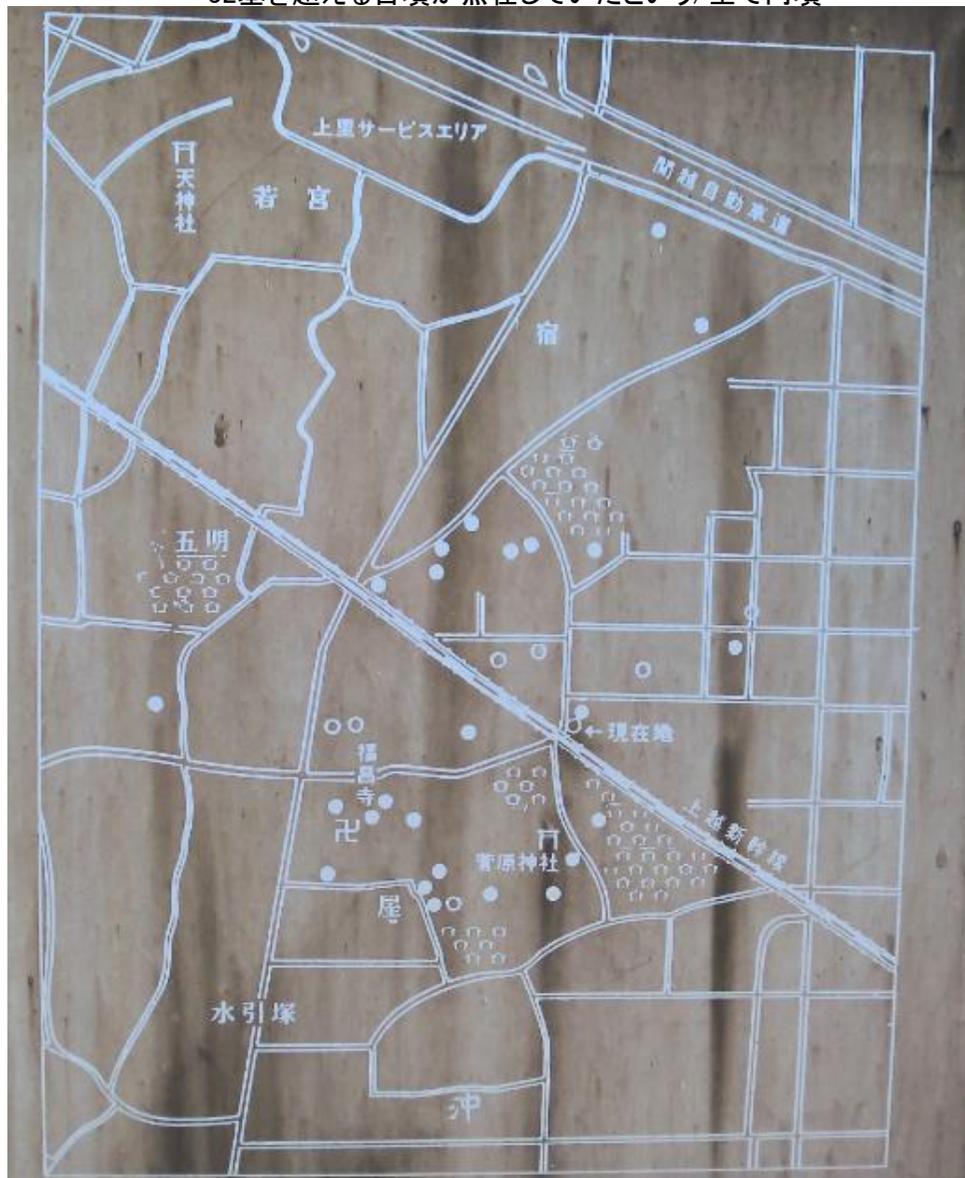
所在地 上里町帯刀

帯刀古墳群は、東西九百メートル、南北千メートルの広範な区域に広がり、桑畑や梨畑の中に三十二基を超える古墳が点在している。

出土遺物は、横穴式石室から装身具のガラス玉、土玉、銅釧どうくわん（腕輪）などが、また、墳丘からは、円塔埴輪、馬形埴輪などが発掘されている。これらことから造営時期は、古墳時代後期の六世紀中葉から七世紀にかけてと考えられている。

このように帯刀古墳群は、出土遺物の多様性や古墳群としての特徴を残していることから、県選定の重要遺跡となっている。

32基を超える古墳が点在していたという/全て円墳



この古墳群は関越道上里サービスエリアの南一帯にある



墳頂に稲荷社が祀られている







墳頂から見下ろす



左回りに見てみる



周囲に畑が迫って削られているようだ



稲荷塚古墳はこの古墳群の中で最大規模の古墳である



鬼塚古墳

稲荷塚古墳の北東300mにある鬼塚古墳



この古墳群の東端に位置し、稲荷塚古墳に次ぐ規模である



水田、畑、果樹園が入り混じる中に古墳が点在する









8号墳

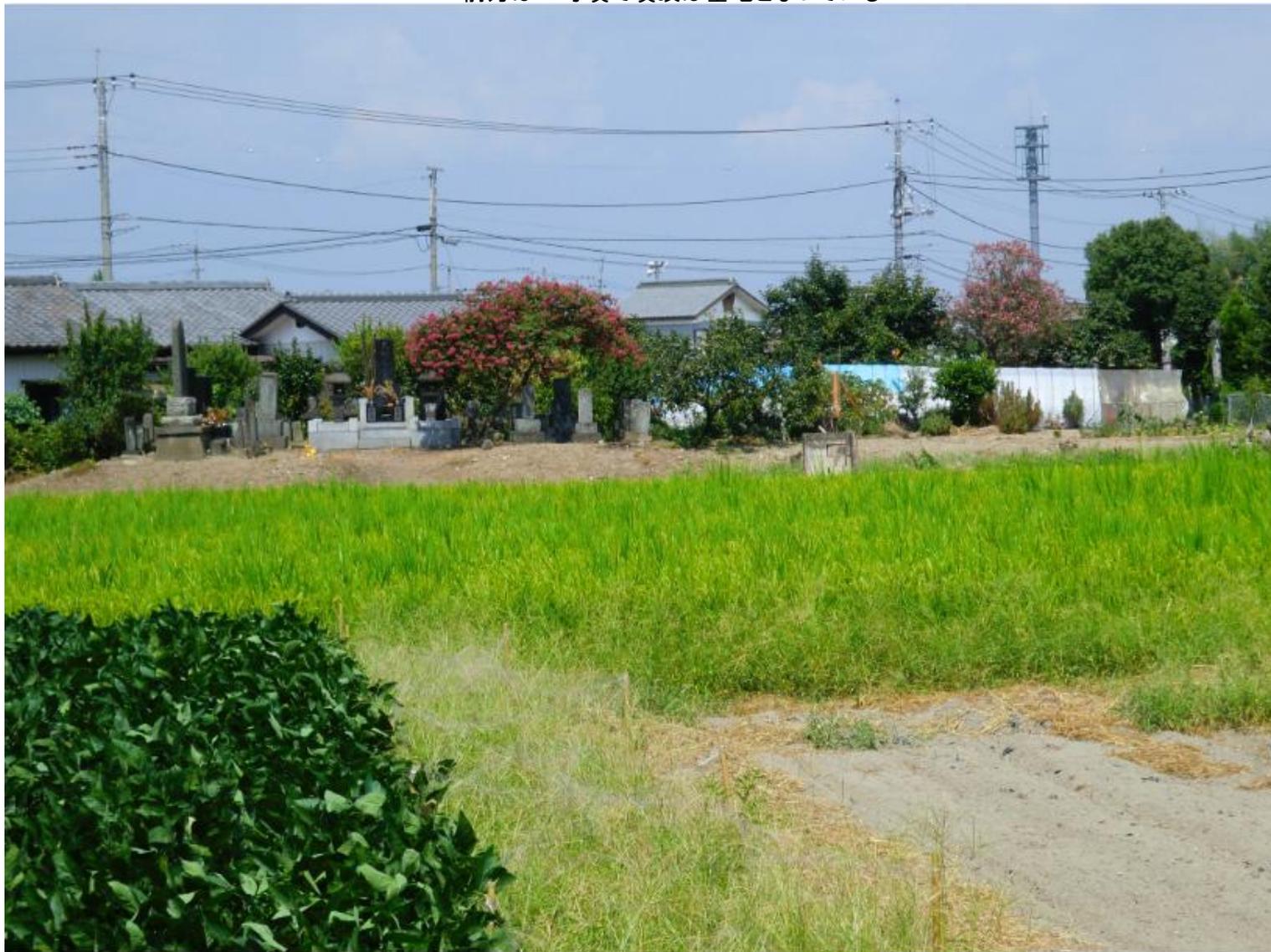
これが8号墳で民家裏に築山のような状態であり、墳頂には氏神様が祀られている



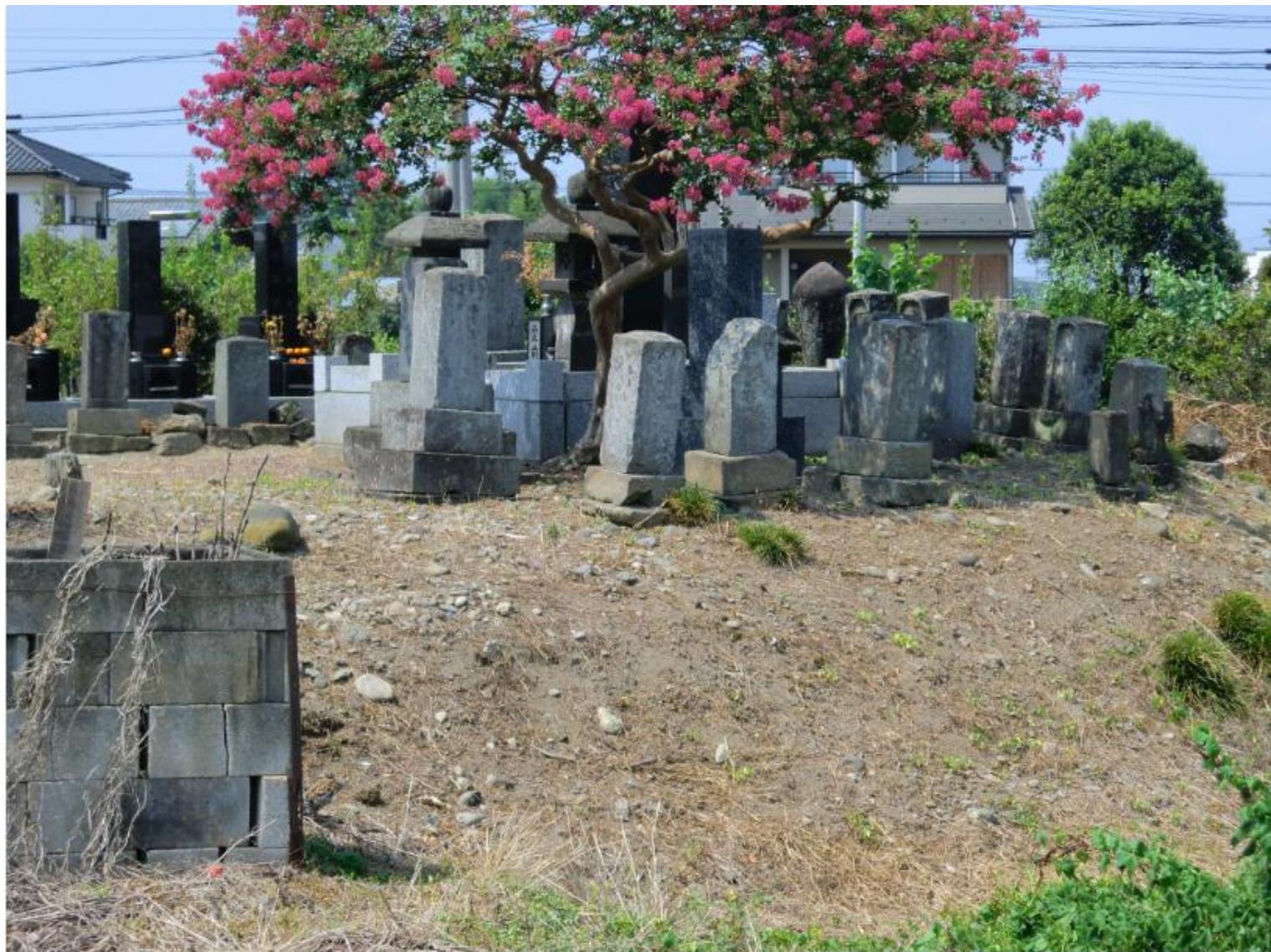


10号墳

前方は10号墳で墳頂は墓地となっている







不明その1

鬼塚古墳から西へさほど遠くないところに、こんな高まりがあった/何号墳か不明であるが、明らかに古墳のようである



墳頂は墓地となっている





不明その2

前方は10号墳近くにある高まり



墓地となっているが古墳であろうか





菅原神社古墳

次に真ん中を横切る上越新幹線を隔てて、南側にある古墳を見てみよう/菅原神社古墳は社殿裏にある



さまざまな石造物



菅原神社社殿/屋根の大きさに対して千木、鯉木が貧弱で付け足しのような感がある



境内社の「愛宕神社」、「稲荷神社」



社殿の裏手にある高まり/事前資料で確認する補助員



これが菅原神社古墳/墳頂にはさまざまな石造物が立ち並んでいた





右回りに廻って見る







遠景から見る



19号墳(推定)

菅原神社の鳥居の西側にあり、石碑が建っているという



補助員が石碑を見つけ指差す









全景



境内側から見た全景



29号墳

さて、次は菅原神社から近くの福昌寺へ行く



福昌寺

所在地 児玉郡上里町帯刀三〇二

福昌寺は、寛正五年（一四六四）、陽雲寺中興開祖である天英祥貞禪師が、源為義の次子で、近衛天皇の東宮時代に、東宮の警備隊長である帯刀先生として仕えていた源義賢の菩提を弔うため一寺を創建し、帯刀山士峰院と称したのが始まりであると伝えられるが、のちの天正十年（一五八二）に北条・滝川の神流川合戦において堂塔すべて焼失した。

天正十二年、信濃国守護となった小笠原貞宗の子孫で陽雲寺六世外雲守門禪師が再び諸堂を建立し、現在の士峰山福昌寺となった。宗派は曹洞宗であり、本尊は釈迦如来である。

当帯刀地区は、古くは長幡郷に属していたといわれるが、平安時代の久寿二年（一一五五）、源義賢が、比企郡の大蔵の戦いで甥の悪源太義平に討たれ、当地に落ちのびて没したため、地元の人々が五尺あまりの塚を築き、その上に五輪塔を祀ったと伝えられている。

昭和六十年三月

埼玉県
上里町

本堂



こちら(東側)にも門がある



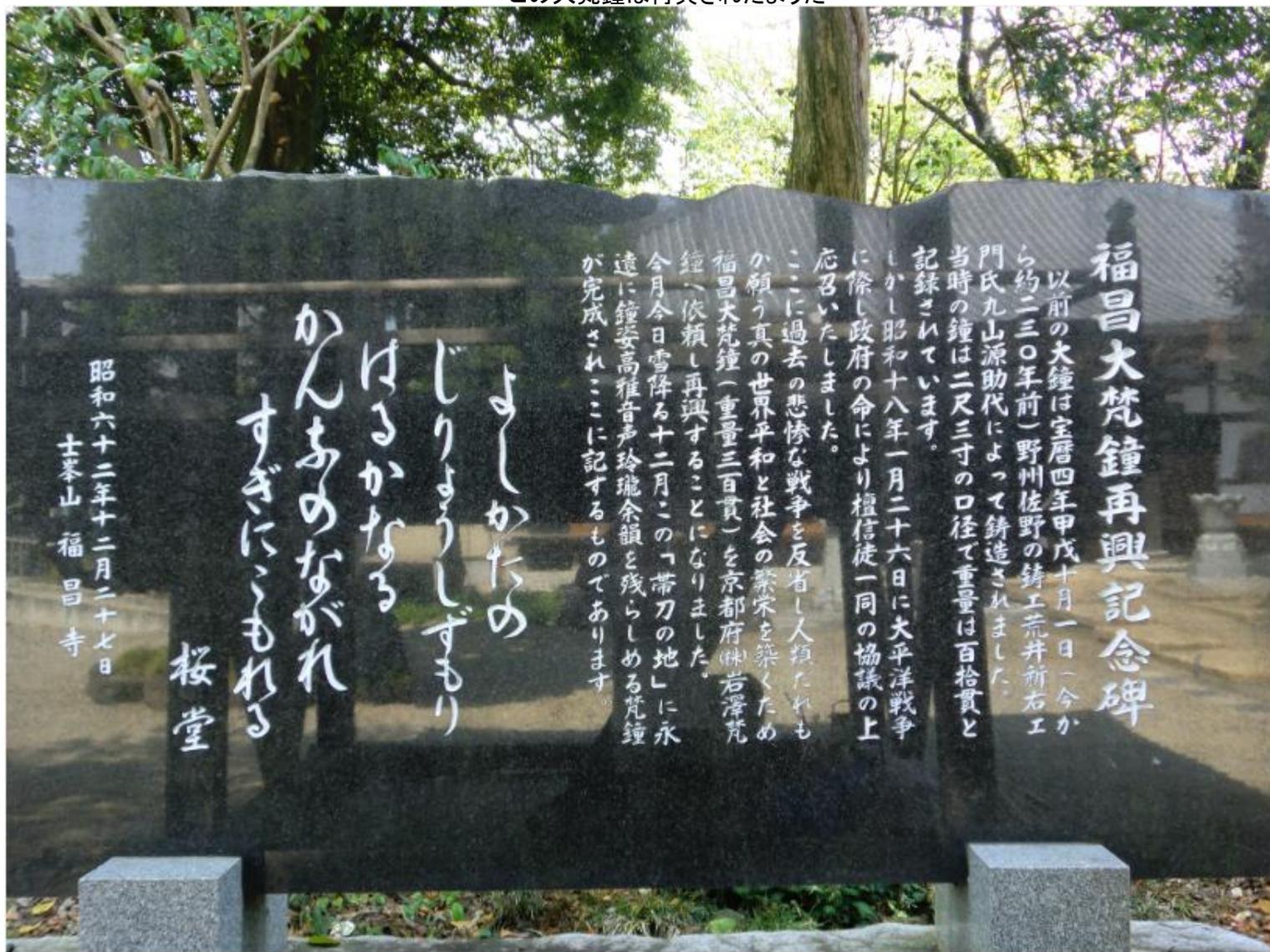
鐘楼もあった



変わった形の持ち送り



この大梵鐘は再興されたようだ









さて、鐘楼のすぐ脇(山門脇でもある)にこのような高まりがある



これが29号墳/山門脇に築山然とした大きな墳丘が残っている





墳頂にあるさまざまな石造物



境頂から鐘楼を見下ろす



22号墳

22号墳/福昌寺境内にあり、南側は墓地化で削られているが北側はよく残っている





墳頂にある社



墳頂から見下ろす



23号墳

福昌寺境内にある23号墳/墳頂に祠が祀られている



右回りに廻って見る







24号墳

福昌寺境内にある24号墳/近年、墓地の造成とともに整備されたという



右回りに廻って見る







25号墳

福昌寺本堂裏にある25号墳/木曾義仲の父、源義賢の墓と伝えられ、町指定史跡となっている





帯刀先生義賢墓とある





墳頂に小さな五輪塔が載っている





26号墳

同じく本堂裏にある26号墳



左回りに廻って見る







27号墳

前方は27号墳/福昌寺墓地の西側にあり、比較的明瞭な1基である



右回りに廻って見る











28号墳(推定)

左手は27号墳の近くにある28号墳



左回りに廻って見る





右手の高まり



15号墳

さて福昌寺から少し離れて、稲荷塚古墳とは新幹線を挟んで真西にある15号墳



畑ではよくある周囲を削られたカステラのようにになっている







地神塚古墳

前方はこの古墳群の西端にある地神塚古墳らしい



正面の高まり



アップで見る



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamisato/inari.htm>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamisato/oniduka.htm>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamisato/tate081.htm>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamisato/tate088.htm>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamisato/sugawara.htm>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamisato/tate100.htm>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamisato/tate104.htm>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamisato/zisin.htm>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/55_kmst/tate1.html#009

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/55_kmst/tate2.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/55_kmst/tate3.html

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/hist/s5/tatewaki.htm>



インターネットより